

□■プミポン前国王の火葬式■□

こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスの佐藤です。

タイのプミポン前国王が死去して丸一年が経ちました。10月はプミポン国王を追悼する行事が次々と開催され、中心となる葬儀は、10月25日から29日までの5日間に渡って執り行われました。10月に入った頃には、街中を歩く人たちの服装が一斉に黒一色に変わり、国中が厳粛な雰囲気になりました。

<故プミポン前国王の葬儀スケジュール>

25日 17:30～ 王宮にて葬儀の準備

26日 07:00～ 王宮から火葬場までの葬送行進 17:30～ 火葬の儀式 22:00～本葬

27日 08:00～ お骨拾いの儀

28日 17:30～ 慰霊の儀

29日 10:30～ 僧侶への托鉢 17:30～ 納骨式

最も重要とされる火葬式が行なわれた26日は、国民の休日とされました。タイの商業施設大手であるセントラルグループ（Central Embassy、Central Chitlom、Robinson）やモールグループは15時には閉店、大手日系百貨店の伊勢丹は終日休業、また、タイ全土のありとあらゆるコンビニやスーパーマーケット（ロータスやBig C、）が14～15時以降には閉店となりました。タイ政府の公式議事録で、娯楽施設、放送局、印刷メディアに対し、10月中の適当な時期におけるエンターテイメント活動や番組の中断、禁酒等への協力等が要請された事もあり、葬儀の期間を挟む数日間、営業を自粛するお店もありました。

火葬式は首都バンコクの王宮前広場で営まれ、タイ王室や各国の王室・皇室関係者らが参列しました。テレビではどの局でも一日中火葬式の模様が生中継されていましたが、葬儀のために約10か月の建設期間と17億円もの予算を投じて建てられた、高さ50mに及ぶ美しい黄金の火葬施設と、前国王を見送るためにタイ全土から参列した数十万人の人々の様子は圧巻でした。

葬儀の最終日となる29日の納骨式を終え、在位70年に渡り国民の崇敬を集めたラーマ9世前国王の時代が幕を閉じ、タイは名実ともに新時代を迎えました。これまで、圧倒的な存在感で政治的な対立を収めてきた前国王の不在により、民主化を求める国民と軍政との間で政治的対立が再燃するのではといった懸念も持たれます。しかし一方で、約1年に及ぶ服喪期間が終了したことで、これまでの自粛ムードが払拭され、タイ経済は本格的な景気回復基調に向かうのではないかとの見方もされています。

2017年10月

これから年末にかけて、各企業や団体の催事が多く予定されており、11月23日にはアセアン最大の機械分野展示会「メタレックス」、11月30日には国内最大規模のモーターショー「タイ国際モーターエキスポ」も開幕されます。各小売企業も、今後は商業活動を本格的に再開することが予想され、タイ国民の購買ムードが一気に高まることが期待されます。



火葬施設とプミポン前国王を偲ぶ黄色いマリーゴールド(※写真は全て葬儀に参列された個人の方が撮影し、ご提供くださいました。)



夜のライトアップの様子



BITEC(バンコク国際貿易展示場)前に設置された献花台

☆☆タイから便り☆☆

～「故ラーマ9世の火葬式の日」～

こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、ビューです。
 故ラーマ9世前国王の火葬式が行なわれた10月26日は、国民の休日だったので、私もプミポン前国王に最後のお別れをするため、家族と一緒に花を捧げに行ってきました。王宮前広場にはタイ国全土から数十万人もの列席者が集まるため、一般の人は火葬施設まで辿り着くことすら困難な状況でした。王宮前広場の施設に参列することができない国民のために、国内の地方都市やバンコク市内には仮の葬儀施設が沢山設けられていたので、私はうちから最も近い Wat Phromma Wongsaram というお寺の中に設営された仮の葬儀場で、約2キロの列に、2時半かけて並びました。列に立って並んでいる間、お水やご飯、ヤードムという嗅ぎ薬等を配ってくれるボランティアの人もいました。タイの象徴であり、タイ国民の父でもあった故プミポン国王の時代が終わり、悲しみや不安もありますが、一人のタイ国民として、この国の今後の行く末を、しっかり見届けたいと思います。



バンコク市内に設けられた仮の葬儀場の様子

島根・ビジネスサポート・オフィス Shimane Busuiness Support Office(Bangkok)

担当；佐藤 揺 Tayuta Sato

Address :1 Glas Haus Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25, Sukhumvit Rd., Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110

Tel :+66-(0)-2-261-10588

Mobile :+66-(0)-89-200-7763

Mail : shimane-bizsup@aapth.com

お気軽にご連絡ください。

当拠点の運営法人（島根県より業務委託）

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インドにて主に日系中堅・中小企業様のアセアン進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

▶ タイ経済指標

項目	単位	2014	2015	2016	2017
GDP 成長率	前年比(%)	0.9	2.8	3.2	3.5(1~6月)
人口*	千人	67,065	67,293	67,506	67,646(8月)
労働者の数*	千人	38,963	39,165	37,792	38,786(9月)
失業率**	%	0.84	0.89	0.99	1.20(9月)
最低賃金*	バンコク	300	300	300	310(9月)
	チョンブリー	300	300	300	308(9月)
	アユタヤー	300	300	300	308(9月)
	ラヨーン	300	300	300	308(9月)
賃金:全国製造業の平均	バーツ	12,074	12,305	12,402	12,465(9月)
インフレ率**	前年比(%)	1.90	▲0.90	0.19	0.60(9月)
中央銀行政策金利*	%	2.00	1.50	1.50	1.50(10月)
普通貯金率**	%	0.59	0.56	0.47	0.47(10月)
ローン金利(MLR)**	%	6.96	6.75	6.47	6.36(9月)
SET 指数*	1975年:100	1,497.7	1,288.0	1,542.9	1,721.37(10月)
バーツ/100円**	バーツ	30.77	28.31	32.53	30.51(10月)
バーツ/米ドル**	バーツ	32.48	34.25	35.30	34.2(10月)
円/米ドル**	円	105.84	121.0	108.8	112.0(10月)
車販売台数(1月からの累計)	台数	884,346	795,905	765,593	648,143(9月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,662	2,237	1,688	590(6月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億バーツ	729.4	809.4	861.3	341.3(6月)

*期末、**平均